



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績 (平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	3,191	1.9	317	△29.7	325	△30.2	175	△36.2
26年9月期第3四半期	3,131	△3.6	451	31.1	467	37.9	275	23.8

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 222百万円(△24.8%) 26年9月期第3四半期 295百万円(21.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	33.63	—
26年9月期第3四半期	52.73	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	5,219	4,157	79.5
26年9月期	5,151	4,002	77.5

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 4,146百万円 26年9月期 3,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
27年9月期	—	0.00	—		
27年9月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	4.2	600	3.3	620	1.2	390	2.7	74.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年9月期3Q	5,255,000株	26年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	35,403株	26年9月期	35,403株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年9月期3Q	5,219,597株	26年9月期3Q	5,219,597株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年10月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益やの改善等を背景に景気は緩やかな回復基調となっており、雇用・所得環境の改善等に伴い回復基調が続くことが期待される状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は緩やかに増加しており、情報サービス業及びインターネット付随サービス業の売上高についても前年同四半期（平成25年10月1日～平成26年6月30日）と比べ増加傾向となっております。また、個人のインターネットを利用した支出についても前年同四半期と比べ増加しております。このような中、スマートフォンやタブレット端末の更なる普及に加え、無線LANやモバイルデータ通信の高速規格の急速な普及、新たなモバイル端末の登場等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した更なる事業展開のための基盤整備に取り組んでまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成27年3月には月間約2億2,000万回となりました。また、当該サービスの月間利用者数（無料サービスを月に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第3四半期連結累計期間においては約1,200万人となっており、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,191,612千円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は317,727千円（前年同四半期比29.7%減）、経常利益は325,943千円（前年同四半期比30.2%減）、四半期純利益は175,557千円（前年同四半期比36.2%減）という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメントにおける売上高が3,023,657千円（前年同四半期比1.1%増）、マルチメディア事業セグメントにおける売上高が89,339千円（前年同四半期比220.2%増）と増加した結果、全体としても前年同四半期と比べやや増加いたしました。利益につきましては、前年同四半期と比べ、マルチメディア事業セグメントにおいて改善し、全社費用の削減等も進んでおりますが、乗換案内事業セグメントにおいては減少しており、営業利益は前年同四半期と比べ減少いたしました。また、経常利益及び四半期純利益につきましては、持分法による投資損益の変動や前年同四半期に発生していた負ののれん発生益が無くなった影響等も受けております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、当社及び連結子会社のイーツアー株式会社において行っている旅行関連の事業の売上高が前年同四半期と比べ大きく増加いたしました。一方で、モバイル向け有料サービス及びグルメ関連の事業における売上高は減少いたしました。利益面では、旅行関連事業の売上高の増加に伴う仕入高の増加、新たな事業展開に向けた新製品・サービスの開発に係る費用の増加等の影響も生じております。

それらの結果、乗換案内事業全体としては売上高3,023,657千円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益557,029千円（前年同四半期比23.6%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、前第4四半期連結会計期間に新規設立し連結子会社となった株式会社悟空出版において事業を開始した影響等により、全体として売上高は前年同四半期と比べ大きく増加いたしました。これに加え、他の会社においても費用の削減ができており、前年同四半期と比べ利益面でも大きく改善しております。

それらの結果、売上高89,339千円（前年同四半期比220.2%増）、営業損失18,710千円（前年同四半期は50,770千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等におきましては、前年同四半期と比べ、それ以前から着手していた開発案件の完了等が少なく、また四半期末時点の未完了案件が増加しており、前年同四半期と比べた売上高・利益は減少いたしました。

それらの結果、売上高96,995千円（前年同四半期比33.4%減）、営業利益16,168千円（前年同四半期比26.1%減）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、営業利益は、配賦不能営業費用及びセグメント間の内部取引による営業費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成26年9月末）と比較しますと、資産は67,973千円増の5,219,008千円、負債は86,651千円減の1,061,593千円、純資産は154,625千円増の4,157,414千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、83,773千円増の4,082,754千円となりました。これは、現金及び預金が81,725千円増の3,019,084千円、前渡金が52,492千円増の370,072千円となった影響が、繰延税金資産が38,279千円減の43,743千円となった影響を上回ったこと等によるものです。現金及び預金の増加は、主に四半期純利益の発生や前受金の増加によるものです。前渡金の増加は、旅行関連の仕入の季節変動等によるものです。繰延税金資産の減少は、賞与引当金の減少や法人事業税等の支払等によるものです。

固定資産につきましては、15,799千円減の1,136,253千円となりました。これは、有形固定資産が1,938千円増の256,939千円、無形固定資産が59,568千円減の180,675千円、投資その他の資産が41,829千円増の698,638千円となったことによるものです。有形固定資産につきましては、設備更新等のための取得と償却が同程度の金額となりました。無形固定資産が減少しているのは、償却が進んでいることによるものです。投資その他の資産が増加しているのは主に、その他有価証券について時価が増加したこと等により投資有価証券が増加したことによるものです。

負債は、流動負債につきましては、96,838千円減の1,041,068千円となりました。これは、未払法人税等が178,136千円減の10,162千円、賞与引当金が70,864千円減の40,484千円となった影響が、未払費用が47,848千円増の112,375千円、前受金が127,742千円増の617,366千円となった影響を上回ったこと等によるものです。未払法人税等の減少は、主に法人税等の支払によるものです。賞与引当金の減少は、主に賞与の支払・支給額の確定によるものです。未払費用の増加も、同様に賞与支給額の確定等によるものです。前受金の増加は、旅行関連の売上の季節変動等によるものです。

固定負債につきましては、10,187千円増の20,524千円となりました。これは、繰延税金負債が10,878千円増の11,905千円となったこと等によるものです。繰延税金負債の増加は、その他有価証券について時価が増加したこと等によるものです。

純資産は、株主資本が107,702千円増の4,044,886千円、その他の包括利益累計額が46,768千円増の101,916千円、少数株主持分が153千円増の10,612千円となりました。株主資本の増加は、四半期純利益175,557千円が剰余金の配当67,854千円を上回った影響により、利益剰余金が107,702千円増の3,497,631千円となったことによるものです。その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が28,619千円増の48,927千円、為替換算調整勘定が18,149千円増の52,988千円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,937,358	3,019,084
受取手形及び売掛金	544,171	538,617
商品及び製品	174	10,367
仕掛品	19,556	30,286
原材料及び貯蔵品	436	34
前渡金	317,580	370,072
繰延税金資産	82,022	43,743
その他	109,760	87,080
貸倒引当金	△12,079	△16,532
流動資産合計	3,998,981	4,082,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	71,793	69,074
機械装置及び運搬具（純額）	5,192	7,750
工具、器具及び備品（純額）	91,303	89,089
土地	86,711	91,024
有形固定資産合計	255,000	256,939
無形固定資産		
のれん	13,714	10,775
ソフトウェア	218,848	164,088
その他	7,681	5,811
無形固定資産合計	240,243	180,675
投資その他の資産		
投資有価証券	428,689	459,255
敷金及び保証金	223,655	235,091
その他	8,697	10,816
貸倒引当金	△4,235	△6,525
投資その他の資産合計	656,808	698,638
固定資産合計	1,152,053	1,136,253
資産合計	5,151,034	5,219,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,430	189,477
未払費用	64,526	112,375
未払法人税等	188,299	10,162
未払消費税等	48,186	30,777
前受金	489,624	617,366
賞与引当金	111,348	40,484
役員賞与引当金	8,200	6,145
返品調整引当金	860	8,410
ポイント引当金	4,262	3,399
受注損失引当金	887	2,741
その他	29,282	19,729
流動負債合計	1,137,906	1,041,068
固定負債		
ポイント引当金	3,410	2,719
繰延税金負債	1,027	11,905
その他	5,900	5,900
固定負債合計	10,337	20,524
負債合計	1,148,244	1,061,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,290	287,290
利益剰余金	3,389,928	3,497,631
自己株式	△17,410	△17,410
株主資本合計	3,937,183	4,044,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,307	48,927
為替換算調整勘定	34,839	52,988
その他の包括利益累計額合計	55,147	101,916
少数株主持分	10,458	10,612
純資産合計	4,002,789	4,157,414
負債純資産合計	5,151,034	5,219,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,131,534	3,191,612
売上原価	1,589,984	1,826,949
売上総利益	1,541,550	1,364,663
返品調整引当金戻入額	1,421	860
返品調整引当金繰入額	767	8,410
差引売上総利益	1,542,204	1,357,113
販売費及び一般管理費	1,090,438	1,039,386
営業利益	451,766	317,727
営業外収益		
受取利息	374	963
受取配当金	1,784	7,948
持分法による投資利益	13,160	-
為替差益	669	2,290
受取事務手数料	2,426	4,256
助成金収入	-	6,000
雑収入	3,276	2,050
営業外収益合計	21,691	23,509
営業外費用		
持分法による投資損失	-	10,542
貸倒引当金繰入額	5,940	4,750
雑損失	317	0
営業外費用合計	6,257	15,293
経常利益	467,199	325,943
特別利益		
固定資産売却益	-	710
投資有価証券売却益	1,500	-
負ののれん発生益	28,384	-
特別利益合計	29,884	710
特別損失		
固定資産売却損	-	95
固定資産除却損	-	1
子会社株式評価損	2,638	1,358
特別損失合計	2,638	1,455
税金等調整前四半期純利益	494,445	325,198
法人税等合計	218,582	149,407
少数株主損益調整前四半期純利益	275,863	175,791
少数株主利益	633	233
四半期純利益	275,230	175,557

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	275,863	175,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,359	21,306
為替換算調整勘定	4,685	18,149
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,038	7,313
その他の包括利益合計	20,006	46,768
四半期包括利益	295,869	222,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,236	222,326
少数株主に係る四半期包括利益	633	233

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,987,662	27,905	3,015,568	115,966	—	3,131,534
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,671	—	1,671	29,657	△31,328	—
計	2,989,333	27,905	3,017,239	145,624	△31,328	3,131,534
セグメント利益 又は損失(△)	728,996	△50,770	678,225	21,864	△248,324	451,766

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△248,324千円には、のれん償却額△4,021千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△244,303千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,022,811	89,339	3,112,150	79,462	—	3,191,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	846	—	846	17,533	△18,379	—
計	3,023,657	89,339	3,112,996	96,995	△18,379	3,191,612
セグメント利益 又は損失(△)	557,029	△18,710	538,318	16,168	△236,760	317,727

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△236,760千円には、のれん償却額△2,938千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△233,821千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。